

第7 1回機器分析技術講習会

信州大学基盤研究支援センター 機器分析支援部門

組織切片定量解析システムVectra3 各種アプリケーション紹介2018年版

第一部：組織多重免疫染色とその応用

演者：野村 守氏 株式会社パーキンエルマージャパン

第二部：FFPEにおける新次元RNA in situ ハイブリダイゼーション

演者：望月 明日香氏 Advanced Cell Diagnostics

日時：平成30年6月28日(木) 16:30～17:30

場所：信州大学 旭総合研究棟 3階

基盤研究支援センター 機器分析支援部門(松本) 小会議室

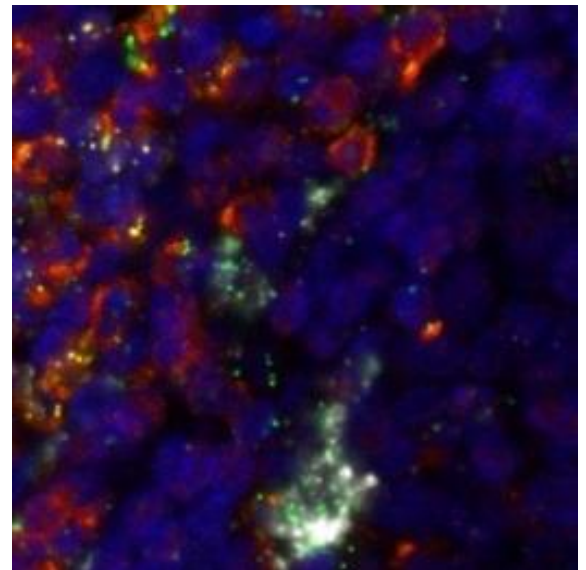
要旨

最近の染色手法の進歩により、FFPEから蛍光多重免疫染色さらにRNAのin situハイブリダイゼーションも可能になりました。さらにVectraのイメージング技術マルチスペクトルイメージングの採用により、一つの切片から7つのバイオマーカーの検出が可能になりました。本セミナーでは、これらの染色技術とVectraでの解析事例を紹介します。

従来は難しかったFFPEのRNA高感度検出・タンパク質の多重高感度検出が可能になり、既存標本の症例解析のツールとして活用範囲が広がります。

本機器は基盤研究支援センター機器分析支援部門(松本)に設置されており、共同利用可能です。

利用相談会を6月28、29日(木、金)に予定しています。相談会に参加希望の方は6月21日(木)までに機器分析支援部門へご連絡ください。



In situ ハイブリダイゼーションと蛍光IHCの同時多重染色事例
CD4-C1 (緑)、CD8-C2 (黄)、CD68-C3 (白)、免疫染色CD45RO (赤)

【お問合せ】

信州大学基盤研究支援センター 機器分析支援部門

松本市旭3-1-1

TEL: 0263-37-3097

URL: <http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/kiban/>

E-mail: kikijimu@shinshu-u.ac.jp